公開吳用 昭和57—12.258



実用新案登録願

昭和上4年 2月 9日

特許庁長官 島田春樹

+ ハッポウベレ リラクメ ハ が 名称 発泡板の両面に貼った紙やすり

2. 考 案 者

フリガナ 住 所 (居所)

室用新案登録出種人と同い

フリガナ氏 名

3. 実用新案登録出願人

郵便番号

カッ シカグン ヨシカワ マチオオ アナ ヒラエマ 埼玉県北葛飾郡吉川町大字平沼876番地

フリガナ (法人にあっては名称および) 氏 名 (代表者の項を設けてその氏名)



4. 添付書類の目録

- (1) ~明 細 書
- (2) / 図 面
- (3) 願書副本
- (4)

- 1 通
- 通 1
- 1 通









56 016351

686

明細書

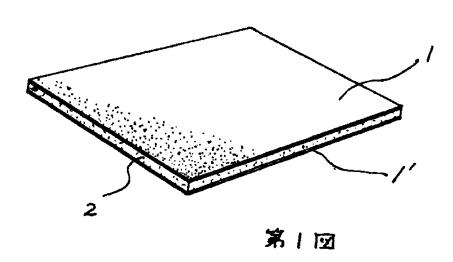
人 考案の名称、発泡板の両面に貼った紙やすり Z. 実用勤案登録請求 · 範围 <u> 発泡板へ両面に、薄様やすりを貼った考案。</u> 3、老案八群细及説明 後来、私やすりは、それままの使用の際、裏面 办了人加左加平约二及办与寸、如寸り面加折4目 や、指跡等へムラに磨盛し易く、 且薄様へ為大変in に使いごうい等の欠点が有ります。 本考案は、この欠点を除く為へもへで、第1回 に示す様、適当な争せ、軽くて切り易い、発泡入 チロール板/A両面に、松やすり//を動合せた ものです。両面監合せの長所は、巻泡スチローノレは 板《轻净的话用之、光《割水防止《弦化二艺成》 且、両面の私やすりの、粒子を違えることによっ て、やすり仕様へ使い分けか、出来るそのです。 この為、第2回に見る様、カツターアイフ書で 適当な大きなに切った、本考案の板状数やすりを加

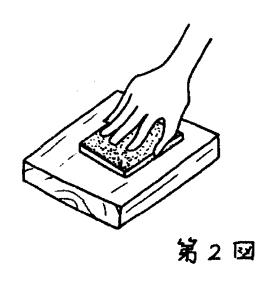
(/)

公開実用 昭和57 - 131258

使用するなら、上からへ加圧か下面やすりに、平 均してかかる為、従来へ紙やすり使用に上げ、は るかに磨滅ムラかかなく、上から加圧し動かすの に、板状である為、押え易く且、上側もやすり面 である由、手指が滑らなってへです。又、発泡ス タロール材は、熱伝導性か小さい為、従来へよう に摩擦熱が、手指に伝わりません。以上説明へ様 に、従来の紙やすり等に比べ、能率性、便い易さ 使用効果等の長所か、選かにおいもへです。 4、図面へ簡単な説明 第1回は本考案へ登視回 第2回は本考案仕様回	均してかかる為、従来の紙やすり使用に比べ、はるかに磨滅人うかかなく、上から加圧し動かすのに、極状である為、押之易く且、上側もやすり面である由、手指が滑らなってへです。又、発泡スケロール材は、熱伝導性が小でい為、従来のように摩擦熱が、手指に伝わりるせん。以上説明の様に、従来の紙やすり等に比べ、能率性、便い易を役用効果等の長所が、遙かに対いものです。 4、図面の簡単な説明 第1回は本考案の針視図																	
3かに磨滅ムラか少なく、上から加圧し動かすのに、極松である為、押之男く且、上側もやすり面である由、手指が滑らなってへです。又、発泡スケロール材は、熱伝導性が小さい為、従来のように摩擦熱が、手指に伝わりません。以上説明の様に、従来の触やすり等に此べ、能率性、便い易を役用効果等の長所が、遥かにおいせのです。 4、図面へ簡単な説明 第1回は本考案の料視回 第2回は本考案仕様回	3から磨滅ムラかかなく、上から加圧し動かすのに、極松である為、押之易く且、上側とやすり面である由、手指が滑らなってへです。又、発泡スケロール材は、熱伝導性が小さい為、従来のように摩擦熱が、手指に伝わりません。以上説明の様に、従来の触やすり等に此べ、能率性、便い易を役用効果等の長所が、遥かに対いものです。 4、図面へ簡単な説明 第1回は本考案の料視図 第2回は本考案は榛田	便	用寸	3	なら		<u> </u>	<u>から</u>		לים לל	え かつ	王	ক	ישא	すり) 12	:	7
に、板状である為、押之男く且、上側もやすり面である由、手指が滑らなってへです。又、発泡スケロール材は、熱伝導性が小さい為、従来のように摩擦熱が、手指に伝わりません。以上説明の様に、従来の紅やすり等に此で、能率性、便い男を任用効果等の長所か、遥かに汐いものです。 4、図面へ簡単な説明 第1回は本考案の料視図 第2回は本考案仕様図	に、板状である為、押之易く且、上側もやすり面である由、手指が滑らなってへです。又、発泡スケロール材は、熱伝導性が小さい為、従来のように摩擦熱が、手指に伝わりません。以上説明の様に、従来の紅やすり等に此で、能率性、便い易さ任用効果等の長所か、遙かに汐いものです。 4、図面へ簡単な説明 第1回は本考案の斜視回 第2回は本考案な様回	均	<u>L7</u>	*	7- 3	為		<u>沃</u>	<u> </u>	粒	ゆす	7.	使	A	n)	としへ	, `->	は
である由、手指が滑らなってへです。又、発泡スケロール核は、熱伝導性が小さい為、従来のように磨擦熱が、手指に伝わりません。以上説明の様に、従来の触やすり当に此べ、能率性、便い易を任用効果等の長所が、遥かにおいせのです。 4、回面の簡単な説明 第1回は本考案の針視回 第2回は本考案な様回	である由、手指が滑らなってへです。又、然泡ス チロール核は、熱伝導性が小さい為、従来のよう に摩擦熱が、手指に伝わりません。以上説明の様 に、従来の紙やすり当に此で、能率性、便い易さ 使用効果等の長所か、遥かに珍いものです。 4、図面の簡単な説明 第1回は本考案の針視図 第2回は本考案は様図	3	かん	磨;	成么	3_	J	15 1	<u> </u>	<u>د</u> _	<u>*</u>	5	20	及	し包	カス	4	9
チロール核は、熱伝導性が小さい為、従来のよう に摩擦熱が、手指に伝わりません。以上説明の様 に、従来の組やすり当に此で、能率性、便い蜀さ 使用効果等の展所が、遥かに切いせのです。 4、図面の簡単な説明 第1回は本考案の針視回 第2回は本考案は様回	チロール村は、熱伝導性が小さい為、従来のよう に摩擦熱が、手指に伝わりません。以上説明の様 に、従来の紅やすり当に比べ、能率性、便い易さ 使用効果等の展所が、遥かにおいせのです。 4、図面の簡単な説明 第1回は本考案の針視回 第2回は本考案は様因	r	、板	执	7 <u> \$</u>	3	為	一书	アえ	易く	E.	. کــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	<u></u> ድ	121	<u>t</u>	やす	<u>"</u>	7 0
に摩擦熱か、手指に伝わりません。以上説明の様に、後来の紅やすり等に比べ、能率性、便い易を 位用効果等の長所か、遥かにおいせのです。 4、図面の簡単な説明 第1回は本考案の針複図 第2回は本考案仕様図	上度擦熱が、手指に伝わりません。以上説明の様に、後来の知やすり等に比べ、能率性、便い易を 位用効果等の長所が、遥かにおいせのです。 4、図面の簡単な説明 第1回は本考案の針視図 第2回は本考案仕様図	7"	ある	争		指	<i>a</i>	滑	Ta	<u>~ 3</u>	_ ^	<u>7</u>	<u> </u>		又,	凂	泡	ス
上度擦熱が、手指に伝わりません。以上説明の様に、後来の紅やすり等に比べ、能率性、便い易を 位用効果等の長所か、遥かにおいせのです。 4、図面の簡単な説明 第1回は本考案の針復図 第2回は本考案仕様図	上度擦熱が、手指に伝わりません。以上説明の様に、後来の紅やすり等に比べ、能率性、便い易を 位用効果等の長所が、遥かにおいせのです。 4、図面の簡単な説明 第1回は本考案の針視図 第2回は本考案な様図	<u> </u>	က - -	シ レブ	防肉	١,	轨	伝真	杜	オープ	<u>\ 2</u>	<u>ب</u>	為		走:	<u>来 ゅ</u>	1	3
1. 後来の紅やすり当に比べ、能率性、便以易之 使用効果等の長所私、選不においものです。 4、図面へ簡単な説明 第1回は本考家へ針視図 第2回は本考家仕様図	1. 後来の紅やすり当に比べ、能率性、便以易之 使用効果等の長所私、選不においものです。 4、図面へ簡単な説明 第1回は本考家へ針視図 第2回は本考家仕様図																	
任用効果等の長所本、選かにおいせれです。 4、図面へ簡単な説明 第1回は本考案の針視図 第2回は本考案仕様図	任用効果等の長所み、選かにおいせれです。 4、図面へ簡単な説明 第1回は本考案の針視図 第2回は本考案仕様図		-															
4、図面へ簡単な説明 第1回は本考案へ針視図 第2回は本考案仕様図	4、図面へ簡単な説明 第1回は本考家へ針視図 第2回は本考察仕様図																	
第1回口本考察《斜視回》	第1回口本考察《斜視回》																	
第2回口本考案仕樣回	第2回口本考察红禄回										den et		-				-	
without dilates to femining annual an	without diligion from the control of	*******																
			<u> </u>	.22.													波	38
								•										
										. ——					- -			
														 .				

回面





实用新宗登錄出類人 川崎将隆

131258 🚽

公易実用 昭和57- 31258

手続補正書(方式)

弱和56年5月11日

特許庁長官

殺

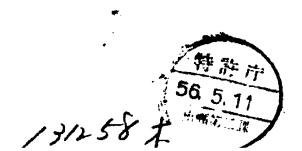
- 1、事件《表示 昭和55年实用新案登録發 第16051号
- 2. 考案の名称 発泡板の両面に貼った靴やすり
- 3. 補正をする者

事件 と 本関係 实用新宗登録出願人 住所 埼玉県北葛舒郡吉川町大字平沼 .

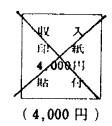
876看地 3-107号 カクサキマサタカ 氏名 川崎将隆(証)

4.

- 5、 補正命令の日付 昭和56年4月5日
- 6. 補正《対象 図面 明細書,願書《金文訂正
- 7. 辅正《内容 别纸《通り



1



実用新案登録願

昭和56年2月9日

特許庁長官

殿

- フリガナ ハツポウバン 13bb ハ た 1. 考 案 の 名 称 発泡 板 の両面に貼った靴やすり
- 2. 考 案 者

フリガナ 住 所(居所) 実用新案登録出願人に同じ フリガナ 氏 名

3. 実用新案登録出願人

郵便番号

342-

フリガナ サイタマヤンキタカッシカグンヨシカワマチ材アサビクタマ 住 所 埼子士・県北、新錦君子吉川町大字平沼 876番地 3一/・7号

フリガナ (法人にあっては名称および) 氏 名 (代表者の項を設けてその氏名)

が特殊



- 4. 添付書類の目録
 - (1) 明細書

1 通

(2) 図 面

1 通

(3) 願書副本

1 通

(4)

通)

明細書

- 1、 考案の名称 発泡板の両面に貼った紙やすり
- 2、 実用新索登録請求《範围

- 発泡板の両面に、薄様やすりを貼った考案。

3. 考案《詳細な説明

従来、紙やすりは、そのままの使用の際、裏面から《加圧か平均にかからず、やすり面が折れるや、 指跡等のムラに魯城し易く、 且薄様の為太変に 使いづらい 等の欠失か有ります。

本考案は、この欠美を除く為のもので、第1回に示す様、適当な事での軽くて切り易い、発泡スケロール板(1)の両面に、紙やすり(1)(1)を貼合せたものです。両面貼合せの長所は、発泡ステロール板の経済的活用と、その割れ防止の強化にも成り且、両面の紙やすりの、粒子を違えることによって、やすり仕様の使い分けか、出来るものです。

こへ為、第2回に見る様、カッターナイフ 等で 適当な大きさに切った、本考案の板状靴やすりを 使用するなら、上からの加圧が下面やすりに、平

(/)

均してかかる為、従来の紙やすり使用に此べ、はるかに磨滅ムラかかなく、上から加圧し動かすのに、板状である為、押え易く且、上側もやすり面である由、手指か滑らないものです。又、発泡スケロール材は、熱伝導性かふさい為、従来のように磨擦熱が、手指に伝わりません。以上説明の様に、従来の紙やすり等に此が、能率性、使い易さ、使用効果等の長所か、遙かに99いものです。

4. 回面《簡单方就明

第1回12.本考索《斜视图。

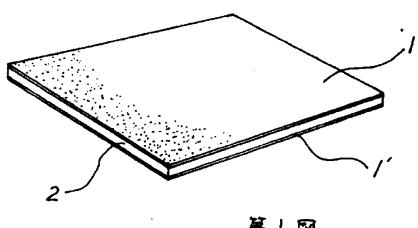
第2回口,本考案使用《斜视图。

(1)(1)は紙やすり (2)は発泡スチロール板

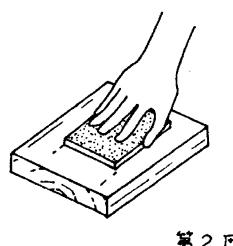
实用新票登錄出職人 川崎将隆

公開実用 昭和57—」31258

面 Ø



第1図



第2四

131258之